

京都競馬場

鈴木 啓治

(2019 年度入学 鈴木ゼミ 3 期生)

昨年は実在の競走馬を擬人化したゲーム「ウマ娘」が大ヒットするなど競馬に関する話題が多く盛り上がった一年だった。私もこのゲームの影響や父が元々競馬をしていたこともあり、昨年から競馬を楽しむようになった。

ここまで競馬について話してきたが、実は京都にも競馬場が存在している。と言うことで、今回は京都競馬場について紹介したい。



「グランドスワン」



「ビッグスワン」

1 京都競馬場〈施設の歴史〉

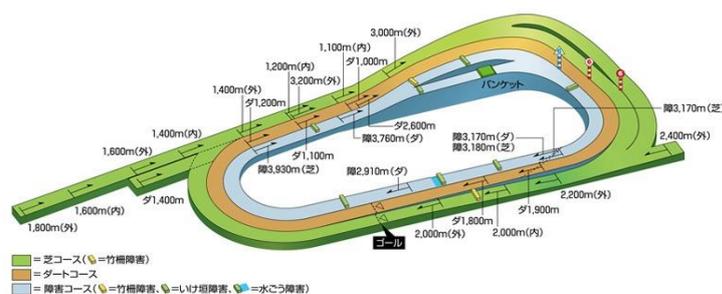
京都競馬場は京都市伏見区にあり、最寄り駅が淀駅である。そのため、別名で淀競馬場や単に淀と呼ばれることもある。現在の位置には 1925 年に設立された。1938 年には競馬人気が高まった事を受け、約 4 万人を収容できる大スタンドが完成する。当時の建築技術を集結して建てられ世界に誇る一大建築となった。このときには現材の京都競馬場の原型を見ることが出来る。その後 1943 年に太平洋戦争が起きてしまい、金属回収令により、大スタンドの屋根が撤去されてしまう。しかし、戦後 1958 年には撤去された屋根の復興が終わり、競馬人気復活とともに多くの人を訪れるようになった。1980 年には新たに新スタンドが完成され、その長さが当時世界最長となりギネスブックにも掲載された。1985 年には「ターフビジョン」と呼ばれる大型ディスプレイが設置され迫力のある競馬観戦が可能となった。1999 年にも増築工事が施工され、このとき新スタンド「ビッグスワン」旧スタンド「グランドスワン」の名称が決まる。そして 2025 年に開設 100 周年を迎えるのに合わせて 2020 年から 2023 年まで大規模工事が施工される予定である。そのため現在、京都競馬場ではレースが開催されておらず入場することも出来ない。

2 主な開催レース

京都競馬場では様々なレースが開催されてきたが特に、重賞競走中でもG1と格が最も高いレースについて紹介したい。ここで開催されるG1レースは天皇賞(春)、秋華賞、菊花賞、エリザベス女王杯、マイルチャンピオンシップの5つである。天皇賞(春)は5月に開催される3200mのレースでG1の中では最も距離が長い。秋華賞は10月に開催される2000mの3歳牝馬限定戦、菊花賞は10月に開催される3000mの3歳牡馬限定戦である。この2つどちらも3冠と括られるレースの最終戦にあたるため特に白熱の展開になることが多い。

マイルチャンピオンシップは11月に開催される1600mのレースだ。エリザベス女王杯は11月に開催される2200mの牝馬限定戦である。

現在は改修中のためこれらのレースを直接見る事が出来ないが、YouTubeなどに過去のレースが配信されているため名レースを手軽に見ることが出来る。そこで私が特に好きな京都競馬場で行われたレースを紹介したい。それは2020年の菊花賞である。新型コロナウイルス影響により入場制限が行われていたため前年の1.4%しか観客がいなかった当時異例の状況での開催だった。更に改修前最後のG1レースであり1番人気の「コントレイル」は無敗でクラシック2冠を達成しており、史上3頭目の無敗での3冠制覇が期待されていた。それに加えて前週に秋華賞でも無敗の牝馬三冠が達成されていたため、史上初の無敗の3冠同時達成が期待されるなど「コントレイル」が圧倒的人気を集める形であった。レースでも圧倒するかに思われたが「アリストテレス」が食い下がりゴールまでしのぎ合う展開となった。最終的には鼻差で「コントレイル」が勝ち無敗での3冠達成という結果となった。文字では白熱した展開を伝えるのが難しいため興味がある人は映像で見て欲しい。



「コース形態」

3 京都競馬場の魅力

ここまで大まかな説明をしてきたが他の競馬場との違いが分りにくいかも知れない。そこで京都競馬場ならではの魅力を紹介したい。

まず、コース形態について紹介したい。競馬場によってカーブ角度や直線の長さ、起伏などが異なり馬にも得意不得意が出てくる。京都競馬場は基本的に平坦なコースとなっているが第3コーナー付近に「淀の坂」と呼ばれる小さな坂が存在する。高低

差は4.3mでここをうまく攻略する事がレースの勝ちに大きく繋がる。

次に「ライスシャワー碑」を紹介する。「ライスシャワー」は1992年の菊花賞や1993年・1995年の天皇賞（春）で勝利をあげた競走馬である。ウマ娘にも登場しており現在も多くファンが存在する。「ライスシャワー」は菊花賞で当時無敗の2冠馬だった「ミホノブルボン」を破ったり、翌年の天皇（春）では「メジロマックイーン」の同レース3連覇を阻止した。そのため「関東の刺客」や「黒い刺客」、「レコードブレーカー」などの異名を持ちヒーローのような扱いがされたことがあった。だがその後は正当に評価されファンの多い競走馬となったが悲惨な最期を迎えることとなってしまふ。1995年に特例により京都競馬場で開催された宝塚記念でレース中に転倒してしまいそのまま安楽死の措置が取られた。翌年に京都競馬場に遺髪収められた記念碑が建てられ現在でも多くの人々により多くの献花と供え物がなされている。「ライスシャワー」最もドラマ性を持った馬であり京都競馬場と言えば「ライスシャワー」を連想する競馬ファンも多い。多くのファンはこのような悲惨の出来事が起きないことを願いながらここを訪れるのであろう。



「ライスシャワー」



「ライスシャワー記念碑」

4 まとめ

競馬にギャンブルのイメージを持つ人は多いかも知れないが、馬や騎手、厩務員などの関係者によって多くのドラマが生まれておりスポーツとしての一面も強い。そのためお金を賭けなくても十分に楽しむことが可能である。大学在学中に現地観戦出来ないのが残念だが、改修が終わり京都競馬場での観戦が再開されたら必ず訪れたい。そして馬や騎手たちによる白熱した展開を楽しみたい。

〈参考資料〉

- ・ 京都競馬場の歴史 | 京都馬主協会 <http://www.kyotouma.or.jp/introduce/>
- ・ 京都競馬場 | JRA <https://www.jra.go.jp/facilities/race/kyoto/>